東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科: 国語 科目: ロホਛコミュニケーション寒臓

科 目: 日本語コミュニケーション実践 単位数: 2 単位 教 科: 国語

対象年次・講座:第2~4 年次

教科担当者: ① 鈴木 航 ② 辻 亜弓 ③ 牛腸 淳 ④ 高梨 雅人

使用教科書: ( なし

教科 国語 の目標:

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 【知 識 及 び 技 能】 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要となる日本語のコミュニケーション技能を身に 付けるようにする。	め、自分の思いや考えを的確に表現することができ	

- 11	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		領域		—— 評価規準		思	態	配当
	キルジスをいるは今日本	11年公口 17日	話・聞	書	読	正 皿 ルナー	知	1EX	<u>بح</u>	時数
	A【単元】話しやすい雰囲気を作る	・ガイダンス ・ネームゲーム ・ジョハリの窓 ・構成的グループエンカウンター など	0			知識及び接動: 結乱 言葉の仲積や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意 と親しさなどに配慮した表現の言葉違いについて理解し、使っている。 (思考力、判断力、表現力) (「思考し、判断力、表現力) (「話行こと・間くこと)」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して主旨を伝えるなど、話の構成や展開を 工夫している。 (主体が)に学習に及り組が優別・ ・情報的に分かりやする、適切さに配慮した表現を要解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。	0	0	0	10
	B【単元】自分を知り、他人を知る 「様々な自己紹介」	・両どなり他己紹介・自己紹介 ・ウインドウズ ・共通項を見つけよう ・私の取扱説明書	0			「知識及び技能」 ・話 点葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意 と親したなどに配進した表及で言葉部がについて無差し、使っている。 「思考力、押助、表現力」 ・「話すこと・順くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確に古るととは、和手の反応を予想して主旨を伝えるなど、話の構成や展開を工夫している。 「主体的に学習に取り細む機長」 「情報的に分かりさき、裏切さに転進した表現を理解し、学習展題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。	0	0	0	10
	単元の振り返り学習			0			0	0		1
前期	C【単元】様々なコミュニケーションを知る① 「からだで感じるコミュニケーションワーク ショップ」	・ジェスチャーゲーム ・伝言ゲーム ・傾聴 など	0			「知識及び技能」 ・路に需称等数や検索・役割、美見の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、軟章 を報じるなど北西連した表現や音楽重かについて理解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・国本では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	0	0	0	6
	D【単元】様々なコミュニケーションを知る② 「演劇の手法を利用したコミュニケーション ワークショップ」	・仲間分けゲーム ・いいよゲーム ・○○を椅子から立たせるゲーム など	0			「知識及び技能」 ・ 語し言葉の特徴や役割、表現の幹色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意 と報じるなどに記載した表現や言葉面がについて関係し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・ 国本では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	0	0	0	8
	単元の振り返り学習			0			0	0		1
	E【単元】言葉によるコミュニケーション力を 高める 「コミュニケーションゲーム」 「ファシリテータ実習」 「ディベート」	・NASA ・バスは待ってくれない ・ディベート (様々なテーマを設定 し、賛成派、 反対派に分かれ、討論 する。)	0			「知識及び技能」・語に理論の特殊や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意 ・話に理論の特殊や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意 を観しるなどに配慮した表現や言葉重かについて指揮し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 「話十さと「明石」ととして、おいて、自分の考えが的様に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して主旨を伝えるなど、話の構成や展開を 工夫している。 「主体的に学習に取り組む機変」・ ・機能的に分かりやする、適切さに配慮した表現を理解し、今習識趣に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して読そうとしている。	0	0	0	14
	F【単元】プレゼンテーション力をつける① 「バブリックスピーチ①」	・サンドイッチ法 ・アイコンタクト ・質問を取り入れる ・タイムや内容を絞ってスピーチする	0			「知識及び技能」 ・比喩・何示・言い機えなどの修辞や、直接的な途べ方や傾曲的な述べ方について理解 上後っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「話すこと」において、1的や電路に応じて、自身の体験や実社会の中から適回な題 材を決め、集かた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・機能的に能者の栄養を開き、発表者の言いたい事を正確に理解しようとしている。	0	0	0	8
,	単元の振り返り学習			0			0	0		1
<b>参</b> 期	G【単元】プレゼンテーション力をつける② 「パブリックスピーチ②」	・物を使って話す ・物を使って主張する① ・物を使って主張する② ・起承転結を意識する	0			「知識及び技能」 ・比喩・例示:言い株えなどの移辞や、直接的な途べ方や城曲的な述べ方について理解 し枝っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「設すこと」において、目的や破固に応じて、自身の体験や支社会の中から適回な題 材を決め、集かた情報の妥単化や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 「主体的に学習に扱り組む機変」 ・機能的に他者の及美を関き、発表者の言いたい事を正確に理解しようとしている。	0	0	0	8
	H【単元】創作・表現活動	・短歌を作り、歌会を行う ・詩やエッセイを創作し、批評し合う	0			「知識及び技能」 ・比除・何宗・言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や嫡曲的な述べ方について理解 し接っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・ 「家とと」において、自分の体験や実社会の中から適切な題材を決め、言葉を吟味 して指命を創わている。 「主体的に学習に取り組む機更」 ・ 複雑的に進帯の件品を読んで作者の意図をとらえようとし、自分の作品をより良いも	0	0	0	1

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科: 国語 科目: 言語文化

 教 科:
 国語
 科 目:
 言語文化
 単位数:
 2
 単位

対象年次·講座:第 2 年次 I 部:① ② ③ ④ II 部:⑤ ⑥ ⑦ ⑧ III 部:⑨ ⑩ ⑪ ⑫

 教科担当者:
 ① 鈴木 航
 ② 鈴木 俊子 ③ 鈴木 航
 ④ 鈴木 俊子 ⑤ 牛腸 淳 ⑥ 鈴木 俊子

 ⑦ 牛腸 淳 ⑧ 緒方 彬 ⑨ 緒方 彬 ⑩ 牛腸 淳 ⑪ 緒方 彬 ⑫ 高梨 雅人

使用教科書: ( 「新編言語文化」 東京書籍 (言文701)

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ともに、言語文化に対する関心と理解を深める。	我が国の言語文化を通して、論理的に考える力や深く 共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者と の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考え を広げたり深めたりすることができるようにする。	わたって読書に親しみ自己を向上させ、わが国の言

88 領域 単元の具体的な指導目標 指導項目·内容 評価規準 知 思 態 時数 話・ 書 知識及び我輩: 言葉には、文化の継条、発展を支える機きがあることを理解している。 我必知の書館文化に特徴的な居和の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、 潔の中で使うことを通して、新版を響き頻像を豊かにしている。 思考力、制物力、現現力。 「設たと」において、文章の情報を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基 所紙(提及ている。 「設たと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内 を解化している。 上往時に学者に扱り加加・増度! たて自本条件の解に対する感性について理解を認め、学習課題に沿って本文や引用歌の考 を指まえなから集着の低への思いを整理しようとしている。 ・キーワード把握、段落分け・内容把握、主題把握 読み取る ・考えの形成 表現の特徴の理解 0 8 「さくらさくら」 「『美しい』ということ」 ・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け 現代文編 小説 日 グロハヘップ 【単元】 ・表現に注意しながら登場人物の心情 ・ 表現に注意しながら ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 を読み取り、小説に親しむ 表現の特徴の理解 「羅牛門」  $\bigcirc$ 話し合い 単元テスト 0 0 前 古文編 古文入門 ・表現や言葉遣い 「知識及び対策」 言葉には、文化の継条、発展を支える働きがあることを理解している。 古典の世界に親しむために、古寿を彼立ために必要な文積のきまりや訓練のきまり、古典 等何の表皮などにいて関係している。 時間の返給や地線の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の 環と教代の言葉とつか正分がについて関係している。 「辺が力、判断力、表受力 「記した」によいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基 期 【単元】 ・古文と現代文の違いを知り、古文を 語彙の構造理解 ・構成の検討、表現の共有・ロールプレイ 読む基礎となる文語のきまりを理解す 「軽かこと」において、文章の情報を踏まえて、内容や構成、展開などについて級定を無 物能に捉えている。 「概むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内 の教験を活動でいた。 上柱的に子替に取り組む地質」 小文芸師の指用いて関係し、学習機関に沿って叙述を基に人物像を繋み取ろうとして 0 10 , 説話の面白さを味わい、古文の世界 に親しむ 「児のそら寝」「用光と白波」「絵仏 師良秀」 1 「知識及び技能」
「常識には、文化の農業、発展を支える働きがあることを理解している。
・音楽には、文化の起発、発展を支える働きがあることを理解している。
・音楽の世界に提出わために、古巻を繋むために必要な文部のきまりや訓練のきまり、古典 特権の表現とだっいて理解している。
「当時の経過や後収の言葉と見べの言葉と見べの言葉と見べの言葉と見べの言葉と見くのつながりについて理解している。
「思考九・判断」、表現力」
・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基 が関係に及し、において、自集や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内 写か解析を定称している。 「主体的に学習にはの、私に関係し、学習展題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとして いる。 ・歴史的仮名遣い D 古文編 随筆 D 立入物域 rau 【単元】 ・古文の表現に慣れ、随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に捉える ・作品の内容を踏まえて、自分のもの の見方、感じ方、考え方を深める ・古文単語、文法 ・キーワード把握、段落分け 内容把握、構造把握 ・ 考えの形成 0 0 0 表現の特徴の理解 「徒然草」「枕草子」 ・ 意見の提示 単元テスト 0 1 調度及FREE] 電線には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 次が国の高語文化に特徴的な語句の最全増し、それらの文化的背景について翅解を得め、 家の中で使うことを過して、振彩を音音線を登かにしている。 見号力、判断力、表現力」 経営とこと「に対いて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基 が構成表えている。 複数とこと「に対いて、大章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基 成態とこと「に対いて、作品や文章に表れているものの見力、感じ方、考え方を捉え、内 保証とこと「に対いて、作品や文章に表れているものの見力、感じ方、考え方を捉え、内 ・古文単語、文法 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、構造把握 考え方を捉えて、内容を解釈する ・特徴的な表現の技法とその効果につ 考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・意見の提示 0 0 10 「柳あをめる」「雪の深さを」 る。 「主体的に学習に取り組む態度」 進んで短歌の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの歌にこめられた情景 や心情を読み取ろうとしている。 「知識及び技能」
・ 古名の世界に親したかに、古典を携むために必要な文語のきまりや訓骸のきまり、古典 特力の表現たどについて理解している。
・ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や電楽の変化について理解を復め、古典の 需要上現代の電楽しののながは、ついて理解している。 「思考力、判断力、表現力」
・ 「設むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基 に労錬に投えている。
・ 「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよう を予察して、表現したいことを明確にしている。 原外、文体、指示、影句などの表現の仕方を工夫している。 「主体的」に寄せ、明むたの表現の仕方を工夫している。 に主体的に容者に思り相と確認。 漢文編 漢文入門 漢字 【単元】 語彙 漢文の特色を知り、きまりを理解す 訓点 ・格言や故事成語を読んで、漢文の世 ・引用と出曲の理解 を 界に親しむ 訓読 格言 再読文字 8 ・意見文の作成 故事成語 単元テスト 後

期	G 漢文編 漢詩 【単元】 ・漢詩を繰り返し音読し、優れた表現 に親しむ ・漢詩にうたわれた情景や作者の心情 を読み取る 「春暁」「黄鶴桜送孟浩然之広陵」 「贈汪倫」「涼州詞」 漢詩と日本文学	・訓点 ・文法、句形 ・キーワード把握 ・漢詩の種類理解 ・内容把握、構造把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・意見の提示			・言葉には、文化の継条、発展を支える働きがあることを理解している。 ・言葉には、文化の継条、発展を支える働きがあることを理解している。 ・古典の世界に優したために、音点や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に優したために、音楽を設たかに必要な文括のきまり・司録の に思考が、判断が、天使力」 「思考力、判断が、天使力」 に思考が、当が、天使力、 において、文章の種類と聴まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基 ・「競かこと」において、文章の種類と踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基 ・「競かこと」において、本章の様類と踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基 「競かこと」において、本章の権政や展開、表現の仕方、表現の特色について評価してい 「経力・工」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価してい 「認な」とはおいて、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価してい 「認な」とはおいて、文章の構成を展開、表現の仕方、表現の特色について評価してい 「認な」と、はおいて、文章の構成を展開、表現の仕方、表現の特色について評価してい る。 「主体的に学習に取り組む他炎」 連んで演練の形がたときまりを理解し、学習課題に沿って、演練に描かれた情景や心情を読み 取り、優れた表現に親しもうとしている。	1	0	0	10
---	--	--	--	--	---	---	---	---	----

登場人物の生き方や考え方を読み取	- 訓点 ・文法、句形 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、構造把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・意見の提示		0	「知識及び接影」、 言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的広報やの量を増し、それらの文化的音談について理解を深め、 文章の中で使うことを追して、語感を言語像を豊かしてしている。 「思考力、判断力、展現力」 「読なこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基 に的解に従えている。 「設とこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を提え、内 が表がに一学者に取り組む態度」 進んで話の展得や登場人物の言動を核み取り、学習課題に沿って、史話のおもしろさを味わ かうとしている。	0	0	0	9
元テスト			<b>'</b>		0	0		1

 東京都立世田谷泉
 高等学校
 令和7年度
 教科:
 国語
 科目:
 古典演習

 教科:
 国語
 単位数:
 2
 単位

科目:古典演習

対象年次・講座: 3・4 年次 ① ② ③ 教科担当者: ①鈴木敏子 ②緒方彬 3

使用教科書: ( 副教材 古典アチーブ1 ) 教科 国語 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
に、古典に対する関心と理解を深める。	我が国の古典を通して、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	わたって読書に親しみ自己を向上させ、わが国の言

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話・聞	領域書		評価規準	知	思	態	配当 時数
Ŧ	<ul><li>利 単元 古典の基礎と誘解 現代仮名遣い・品詞・動詞の活用 ・ 動詞の活用 </li><li> ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	・古典における言葉の用法 ・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、投 ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い	0	0	0	知識及び技能  ・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的、文章の中で使うことを通して、語感を 「忠考力、判断力、表現力、文章の種類を踏まえて、内容や構成、 民間などについて叙述を基に的鑑し提えている。 ・「読むこと」において、文章を経典とないる。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、 感じ方、考え方を提え、内容を解釈している。 「主体的に学習に取り組む態度」 進心で日本報等の桜に対する破性について理解を深め、学習課題 に沿つて本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを 整理しようとしている。	0	0	0	12
TIME TIME	3 単元 古典の基礎と誘解 動詞の活用の見分け・形容詞の活用 誘解作品 「宇治拾遺物語」「浦島太郎」「徒然 草」「伊曽保物語」	・古典における言葉の用法 ・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把提、改善の読みけ ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い	0	0	0	「知識及び技能」・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解し、言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的 背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を 唐き語彙を豊かにしている。「思考力、判断力、表現力」・「認むこと」において、文章の観光的ままで、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に提えている。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を提え、内容を解釈している。「主体的に学習に助り組む地度」進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。	0	0	0	12
mm	<ul><li>単元 古典の基礎と誘解 助動詞の種類と活用</li><li>號解作品 「玉勝間」「沙石集」「沙石集」「今昔 物語集」</li></ul>	・古典における言葉の用法 ・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い	0	0	0	「知識及び技能」 ・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的 背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を 磨き部盤を豊かにしている。 「思考力、判断力、表現力」 ・読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的鑑に提えている。 ・読むこと」において、大章の種類を踏まえて、内容や構成・展開などについて叙述を基に的鑑に提えている。 ・読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 「主体的に学習に取り組む態度」 進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本分引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。	0	0	0	12
# m	) 単元 古典の基礎と誘解 助動詞の種類と活用 誘解作品 「宇治拾遺物語」「土佐日記」「竹取物 語」	・古典における言葉の用法 ・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い	0	0	0	知識及び技能」・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的 背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を 啓き語彙を豊かにしている。 「思考力、判断力、表現力」・「誌むこと」において、文章の観報を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基にの論に扱えている。 ・「謎むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、総し方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「述むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、総し方、考え方を捉え、内容を解釈している。 「主体的に学習に取り組む態度」 追ふて日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に合って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。	0	0	0	14
後期	E 単元 漢文の基礎と読解 訓読の基礎 読解作品 「蒙求」「淮南子」「列氏」「史記」 「孟子」	<ul> <li>・古典における言葉の用法</li> <li>・漢字・語彙、文章の読み方</li> <li>・キーワード把握、段落分け</li> <li>・内容把展、主題把握</li> <li>・考えの形成</li> <li>・表現の特徴の理解</li> <li>・話し合い</li> </ul>	0	0	0	「知識及び技能」 ・言葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的 背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を 暗き語彙を参かにしている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的際に提えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、態し方、考え方を捉え、内容を解釈している。 「主体的に学習に取り組む態度」 進んで日本教物の桜に対する躯体について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用駅の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを	0	0	0	14
Ē	3 単元 漢文の基礎と読解 訓読の基礎 ************************************	・古典における言葉の用法 ・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け				知識及び技能  ・音葉には、文化の継承、発展を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的				

	<ul> <li>・ 内谷世佐、土理世佐 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い</li> </ul>	0	0	育旅について埋解を深め、又草の中で使うことを連して、静感を 贈き請象を参かにしている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、 展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方。 感し方、考え方を捉え、内容を解釈している。 「主体的」で習に取り組む態度」 進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題 に治って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを 整理しようとしている。	0	0	0	14
								合計
								78

東京都立世田谷泉 高等学校 令和7年度 教科: 国語 科目: 現代文演習

 教 科:
 国語
 科 目:
 現代文演習
 単位数:
 2
 単位

対象年次・講座: 3,4 年次 ①②③

教科担当者: ①鈴木 俊子 ②緒方 彬 ③高梨 雅人 使用教科書: (「文学国語セレクション」東京書籍 補助教材 )

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
で、語感を磨き語彙を豊かにしている。		○ 本文解釈を通じて、自分の考えを振り返り、実生活に活かそうとしたり、還元しようとしたりしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	<ul><li>○登場人物の人物像を読み取る</li><li>○「指示語・接続語」を理解する</li></ul>	○『山月記』(中島敦) 意味段落一・二読解 ・李徴、袁傪の人物像を読み取る ○問題演習 ・例題「学びとは何か」 ・実践「レトリック感覚」	<ul> <li>「知識及び技能」</li> <li>・言葉には、思考や認識を構築したり、補ったりする 働きがあることを理解している。</li> <li>「思考力、判断力、表現力 」</li> <li>・「読むこと」において、文章の展開や構成、描写などを的確にとらえ、その効果について考えようとしてる。</li> <li>・「読むこと」において、書き手(作者・筆者)の主張を基に、自分の考えを広げ、深めている。</li> <li>「学びに向かう力、人間性 」</li> <li>・本文解釈を基に、自分の思考の過程を振り返ったり、既習事項を実生活に還元しようとしたりしている。</li> </ul>	0	0	0	10
前期	<ul><li>○登場人物の心情を考察する・①</li><li>○「同意表現」を理解する</li></ul>	○『山月記』(中島敦) 意味段落三 中四読解 ・李徴の告節の一定読み取る ・李徴の即席の演詩から、 心情を読み取る ・問題演習 ・例題「日本のデザイン」 ・実践「つかふ」	<ul> <li>「知識及び技能」</li> <li>・言葉には、思考や認識を構築したり、補ったりする 働きがあることを理解している。</li> <li>「思考力、判断力、表現力 】</li> <li>・「読むこと」において、文章の展開や構成、描写などを的確にとらえ、その効果について考えようとしてる。</li> <li>・「読むこと」において、書き手 (作者・筆者)の主張を基に、自分の考えを広げ、深めている。</li> <li>「学びに向かう力、人間性 】</li> <li>本文解釈を基に、自分の思考の過程を振り返ったり、既習事項を実生活に還元しようとしたりしている。</li> </ul>	0	0	0	12
	<ul><li>○描写の効果を考察する</li><li>○「因果関係」を理解する</li></ul>	○『山月記』(中島教) 意味段落五・六読解 ・李徴の告白を読み取る ・「再びその姿を見なかった」の 目的語を考察する。 ○問題演習 ・例題「現代科学の歩きかた」 ・実践「科学と非科学」	<ul> <li>知識及び技能 〕</li> <li>言葉には、思考や認識を構築したり、補ったりする働きがあることを理解している。</li> <li>【思考力、判断力、表現力 〕</li> <li>「読むこと」において、文章の展開や構成、描写などを的確にとらえ、その効果について考えようとしてる。</li> <li>「読むこと」において、書き手(作者・筆者)の主張を基に、自分の考えを広げ、深めている。</li> <li>「学びに向かう力、人間性 〕</li> <li>本文解釈を基に、自分の思考の過程を振り返ったり、既習事項を実生活に還元しようとしたりしている。</li> </ul>	0	0	0	16
	○登場人物の心情を考察する - ② ○「意味段落」を理解する	○『こころ』(夏目漱石) 意味段落・・二・三読解 ・私の心情を考察する ・Kの第一信条を把握する ・Bの第一信条を把握する ○問題演習 ・例題「『サル化』する 人間社会」 ・実践「入門!論理学」	<ul> <li>□ 知識及び技能 」</li> <li>・言葉には、思考や認識を構築したり、補ったりする 働きがあることを理解している。</li> <li>[ 思考力、判断力、表現力 〕</li> <li>・「読むこと」において、文章の展開や構成、描写などを的確にとらえ、その効果について考えようとしてる。</li> <li>・「読むこと」において、書き手(作者・筆者)の主張を基に、自分の考えを広げ、深めている。</li> <li>[ 学びに向かう力、人間性 〕</li> <li>・本文解釈を基に、自分の思考の過程を振り返ったり、既習事項を実生活に還元しようとしたりしている。</li> </ul>	0	0	0	10
後期	○登場人物の心情の推移を考察する - ① ○「問題提起・キーワード」を理解する	○『こころ』(夏目漱石) 意味段落四・五・六読解 ・部屋と複の効果を考察する ・Kの覚悟を考察する ・私の心情の推移を考察する ・利の心情の推移を考察する ○問題演習 ・例題「生まれてこないほうが 良かったのか?」 ・実践「暇と退屈の倫理学」	<ul> <li>知識及び技能 〕</li> <li>言葉には、思考や認識を構築したり、補ったりする働きがあることを理解している。</li> <li>[思考力、判断力、表現力 〕</li> <li>「読むこと」において、文章の展開や構成、描写などを的確にとらえ、その効果について考えようとしてる。</li> <li>「読むこと」において、書き手(作者・筆者)の主張を基に、自分の考えを広げ、深めている。</li> <li>「学びに向かう力、人間性 〕</li> <li>本文解釈を基に、自分の思考の過程を振り返ったり、既習事項を実生活に還元しようとしたりしている。</li> </ul>	0	0	0	16

<ul><li>○登場人物の心情の推移を考察する - ②</li><li>○「具体と抽象」を理解する。</li></ul>	○『こころ』(夏目漱石) 意味段落七・八・九読解 ・いびつな円について考察する ・私の倫理的弱点について 考察する ・Kの遺書を読んだ私の心情を 考察する	[ 知識及び技能 ] ・言葉には、医学や認識を構築したり、補ったりする 働きがあることを理解している。 [ 思考力、判断力、表現力 ] ・「読むこと」において、文章の展開や構成、描写などを的確にとらえ、その効果について考えようとしてる。 ・「読むこと」において、書き手(作者・筆者)の主張を基に、自分の考えを広げ、深めている。 [ 学びに向かう力、人間性 ] ・本文解釈を基に、自分の思考の過程を振り返ったり、既習事項を実生活に還元しようとしたりしている。	0	0	0	14
						合計 78

 東京都立世田谷泉
 高等学校
 令和7年度
 教科:
 国語
 科目:
 作文演習

 教科:
 国語
 単位数:
 2
 単位

対象年次・講座: 2~4 年次 ① ② ③ ④ 教科担当者: ①⑤高梨雅人 ②③鈴木敏子 ④緒方彬

使用教科書: (

教科 国語 の目標:

【知 識 及 び 技 能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 作文演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、自己を表現する能力を育成する。	感受性を育み、進んで心情をあらゆる方法で表現する姿勢を身に付ける。

)

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域書		評価規準	知	思	態	配当 時数
	整った文を書く。 わかりやすい文を書く。	<ul> <li>・講座ガイダンス</li> <li>・間違いやすい漢字や表記についての 学習</li> <li>・敬語・話し言葉・書き言葉</li> <li>・接続表現の種類に</li> <li>・ 充脈による接続</li> <li>・ 読点の打ち方</li> <li>・ あいまいな文</li> </ul>	0	0	「知識、技能】 ・言葉には、自己・他者の相互理解を探める働きがあることを理解し、言葉や実起の大 切さを理解している。 [(1)7] ・自分の思いで考えを参加に表現するために必要な語句の意を増し、適切な言葉違いや ・自分の思いで考えを参加に表現する。 「思考・判断・表現」が、「総合を略・、開業を整かにしている。 [(1)9) 「思考・判断・表現」が、「最かの思いで考えを開催にし、事業を含確は正等したり設明 したりするための言葉と実数を正確に判断して、実現のしかたを工夫している。 [B (1)まおいご常ままり、和目も能力 「主社がご常ままり、和目も能力 ・正しい表記や搭載を整かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	0	0	0	10
前期	文のつなぎ方、原稿用紙の使い方を身に 付ける。	・文脈による接続 ・接続表現の種類と働き ・原稿用紙の使い方	0	0	知識、共能  ・言葉には、自己と他者の相互理解を探める働きがあることを理解し、言葉や表定の大 ・言葉には、自己と他者の相互理解を探める働きがあることを理解し、言葉や表定の大 りさを理解している。 [(1)ア] ・自分の思いや考えを多がに表現・一般を受け、活動を含ま、顕像を参加にしている。 [(1) つ] ・「意が、こと」に対い、自分の思いや考えを開業に、非事を分略に基でしたり説明 (1)オ] ・「意が、こと」に対い、自分の思想と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。 [ B  【主体的に学習に取り組む態度】 ・正しい表記や踏嚢を豊かにすることについて模様的に取り組もうとしている。	0	0	0	12
	論理的な表現を身に付ける。 言葉の学習。	・段落の構成を意識して書く ・ことわざ・一般常識・故事成語	0	0	「知識、技能】、 ・言葉には、自己と他名の相互理解を探める働きがあることを機解し、言葉や表起の大 の言葉には、自己と他名の相互理解を探める働きがあることを機解し、言葉や表起の大 のもの思いや考えを参加に表現するために必要な話句の量を情し、適切な言葉違いや 表記に関する知識を記げ、話感を得る、指導を参加にしている。[10 つ] 「思考・判断・大型川へ、名のの思いや考えを開業に、事業を必確は確実したり説明 したのするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。[B (1) オ] 【主体的に学習に扱り組む態度】 ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	0	0	0	16
	小論文の書き方を身に付ける。	小論文構成メモの作成     小論文を書いてみる     ・資料を読み取って書く     ・発想を広げて書く	0	0	「知識」大規制 ・電報には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大 ・電報している。 [(1)7] ・自分の思いや考えを参加に乗出するために必要と語句の最を増し、適切な言葉違いや 表記に関する物識を起げ、無感を耐き、誘寒を豊かにしている。 [(1) 思り、 ・「歌くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明 したりするための選挙と表形を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。 [B (1) が (1) が (1) が (1) が (1) が (1) が (2) が (2) が (3) が (4) が (5) が (5) が (6) が (7) が (7) が (8) が (8) が (9) が	0	0	0	16
後期	豊かな表現に触れる。	・俳句、川柳などを読み感想文を書く。 ・俳句、川柳を読む。	0	0	知識、状態  ・言葉には、自己と他者の相互理解を探める働きがあることを理解し、言葉や実証の大 のまと理解している。 [(1)27] ・自分の思いで考えを彩に業界するために必要が振りの量を情じ、適切な言葉違いで まだに関する知識を切げ、節感を耐き、脂瘍を患かにしている。 [(1)27] ・日本の表しておいる。 [(1)27] ・日本の表したの言葉と表が、理解を参加している。 (2)27 ・「本を心神に振り上り設明したのするための言葉と表が正確に判断して、実現のしかたを工夫している。 [B (1)37] ・正しいま記で簡素を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0	0	0	10
	聞いた情報を整理する。 エッセイを書く。	・地図を見て道順を聞き取る ・料理の仕方を聞いてレシピを書きと る			【知識・技能】 - 言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大 切きを理解している。 [(1)ア] - 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な勝句の量を増し、適切な言葉遣いや 表記に関する知識を近げ、断惑を得き、影像を受かにしている。 [(1)ウ]				

	・フンタを聞いく必要な情報を入せする ・エッセイを読む ・エッセイを書く	0	0	1・安、こと、「2017、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明 したりするこかの重要と実施を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。 [B (1) ま) 【主体的に学習に取り組む施度】 「主体的に学習に取り組む施度」 ・主しい実施や確繁を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	0	0	0	14
ŀ								合計 78

 東京都立世田谷泉
 高等学校
 令和7年度
 教科:
 国語
 科目:
 演劇

 救 科:
 国語
 料目:
 演劇
 単位数:
 2
 単位

 対象年次・講座:
 2~4
 年次
 ① ② ③ ④

数科担当者: ①辻亜弓 ②鈴木航 ③ ④

使用教科書: ( なし )

教科 国語 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 演劇 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<b>১</b> .	フレミルナフ	演劇の学習活動を通して、自己表現の楽しさを実感し、自己の人間性を高めることができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 揺		領域 評価規準		知	思	態	配当	
	・ガイダンス	間	書	読	「知識及び技能」	\ \frac{1}{1}	/Ex	165 1	時数
習	<ul><li>演じることについて</li><li>・ストレッチ</li><li>・腹筋</li><li>・発声練習</li><li>・滑舌</li><li>など</li></ul>	0		0	・日本語の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確 さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮 した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いが的 確に伝わるよう、役柄の立場を正確に理解するととも に、観客の反応を予想して台詞を発するなどの工夫を している。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・稽古中に素直に指導者のアドバイスに耳を傾け、ま た他者の演技を集中して観察することで、自分の演技 力向上に活かそうとしている。	0	0	0	10
B 単元 正確に台本をよむ 前 期	・「アイウエオの歌」 ・「羊が一匹」 など	0		0	「知識及び技能」 ・日本語の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確 さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮 した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いが的 確に伝わるよう、役柄の立場を正確に理解するととも に、観客の反応を予想して台詞を発するなどの工夫を している。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・稽古中に素直に指導者のアドバイスに耳を傾け、ま た他者の演技を集中して観察することで、自分の演技 力向上に活かそうとしている。	0	0	0	16
C 単元 抑揚をつけて台本をよみ、演じる。	<ul><li>「貧乏神物語」</li><li>「外郎売」</li><li>など</li></ul>	0		0	知識及び技能」 ・日本語の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやする、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉違いについて理解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いが的確に伝わるよう、役柄の立場を正確に理解するとともに、観客の反応を予想して台詞を発するなどの工夫をしている。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・宿古中に楽霞に指導者のアドバイスに耳を傾け、また他者の演技を集中して観察することで、自分の演技力向上に活かそうとしている。	0	0	0	10
D 単元 身体を使って演じる	• 発表会用台本	0		0	「知識及び技能」、表現の特色を踏まえ、正確 5、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。「思考力、判断力、表現力」・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いが的確に伝わるよう、役柄の立場を正確に理解するとともに、観客の反応を予想して台詞を発するなどの工夫をしている。 「主体的に学習に取り組む態度」・稽古中に素直に指導者のアドバイスに耳を傾け、また他者の演技を集中して観察することで、自分の演技力向上に活かそうとしている。	0	0	0	14
E 単元 気持ちを込めて演じる 後 期	• 発表会用台本	0		0	「知識及び技能」 ・自ま施の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と 報したなど応感生に表現や言葉語・について理解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・ 指示さと・間のくともにおいて、自分の思いが的確に伝わるよう、役所の立場を正 第に那様するとともに、観かの反応を予想して台間を受するなどの工夫をしている。 ・ 本語では、「主体的に参謀と即動も態態」 ・ 権立中に実施に指導者のアドバイスに耳を傾け、また他者の演技を集中して観象する とで、自分の演技力向上に活かそうとしている。		0	0	12
F 単元 発表会に向けて	発表会用台本				「知識及び技能」 ・日本語の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確 さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮 」た表現や言葉滞いたついて理解! 体っている				

		0	0	「思考力、判断力、表現力」・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いが的確に伝わるよう、役柄の立場を正確に理解するとともに、観客の反応を予想して台詞を発するなどの工夫をしている。 「主体的に学習に取り組む態度」・稽古中に素直に指導者のアドバイスに耳を傾け、また他者の演技を集中して観察することで、自分の演技力向上に活かそうとしている。	0	0	0	16	
								合計	ı
								78	ĺ

東京都立世田谷泉 高等学校 令和6年度 教科: 国語 科目: 現代の国語

単位数: 2 単位

教科担当者: ①鈴木航 ②辻亜弓 ③鈴木俊子 ④緒方彬 ⑤牛腸淳 ⑤高梨雅人

使用教科書: 「新編現代の国語」 東京書籍 (現国701)

の目標: 教科 国語

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
力を高	る力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う 高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりす	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	出二の目はかれた湾口標	<b>华道</b> 佰日 - 中央			t	<b>新集</b> 担 徒	źπ	EH .	台片	配当
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話・聞	書	読	- 評価規準 	知	思	態	時数
	A 単元 自己への理解を深める 『こそそめスープ』『ルリボシカミキ リの青」 ・筆者独自の考え方を読み取り、人そ れぞれがもつ意識の世界に思いをはせ る。	<ul><li>・漢字・語彙、文章の読み方</li><li>・キーワード把握、段落分け</li><li>・内容把握、主題把握</li><li>・考えの形成</li><li>・表現の特徴の理解</li><li>・話し合い</li></ul>			0	知識及び接近: - 言葉には、影響や思考を支える働きがあることを理解している。 「思考力、判断力、表現力」 - 「競技とと」において、目的に応じて、文章や協奏などに含まれている情報を相互に関係 付けなから、内容や書き手の意図を解彰したり、文章の構成や論理の展開などについて評価 したりするともに、自分の考えを認めている。 「主体的に学乳にみりまむ無限」 - 進んて筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	0	0	0	9
	B 単元 評論を読んで関心の幅を広げる る 『未来を作る表現力』『水の東西』 ・具体例と筆者の意見の関係に注目しながら、説得力のある文章を読み取れるようになる。	・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い			0	知識及び技能」  - 常用漢字の膜みに慣れ、主な常用漢字を装むことができている。 「思考力、判断力、表現力。 「認たる」において、文章の種類と描まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 「主体的に学習に取り組む機度」 ・比較を選じて助り機(「無面」の文化の差異への理解を探め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。	0	0	0	9
前	単元テスト			0			0	0		1
期	C 単元 コミュニケーションの基礎を 養う 「分かりやすい説明をしよう」 ・目的や相手に合った分かりやすい説 明をする。	<ul><li>・表現や言葉遣い</li><li>・語彙の構造理解</li><li>・構成の検討、表現の共有</li><li>・ロールプレイ</li></ul>	0			「知識及び技能」 ・話に需要と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切 を、復意を観しななどに配慮した表現や音楽型かについて想解し、使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・ 「話すこと・間ぐこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう。自分の立場や考えを 別能にするととした。相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工 大している。 「主体的に学者に取り組む機能」 ・機能的に分かりやする、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を 予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。	0	0	0	9
	D 単元 視野を広げる 『スキマが育む都市の緑と生命のつながり』『無彩の色』 ・具体例や提示された新しい視点を理解しながら文章を読み、筆者の価値観と主張をつかむ。	・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、構造把握 ・考えの形成 ・表現の提示 ・意見の提示			0	「知識及び技能」 ・実社会において理解したり表現してりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句 や指案の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で接うことを適し て、語感を搭き語彙を置かたしている。 「思考力、押部力、表型力」 ・「提入とと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙 定を払この論に捉え、要旨や要点を把握している。 「主体的に学者に取り組む態度」 ・進んて筆者の「灰色」に対する価値製や主張を理解し、学習課題に沿って色彩に対する自 分の考えを深め、発表しようとしている。	0	0	0	9
	単元テスト			0			0	0		1
	E 単元 働く人の思いを理解し、社会 と関わる準備をする 『錦洗いの日々』『森で染める人』 『真夏のひしこ漁』 ・「働くこと」についての様々な文章 を読み、仕事に対する筆者の思いを読 み取る。	<ul> <li>漢字・語彙、文章の読み方</li> <li>キーワード把握、段落分け</li> <li>内容把握、構造把握</li> <li>考えの形成</li> <li>表現の特徴の理解</li> <li>意見の提示</li> </ul>			0	「知識及び技能」 ・ 文、高、文帯の効果的な組み立て方や稜綾の仕方について照解している。 「思考力、門断力、表現力」 ・ 「彼たとと」において、文郡の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を高に的論に対し、要目や意名を把慰している。 「主体的に学習に取り組む地定」 ・ 遂んて集者の体験がから集者の仕事に対する思いを理解し、今までの学習を生かして職業 について見聞きしたことを検査しようとしている。	0	0	0	9
	F 単元 表現する力を養う 「新聞記事を読んで意見文を書こう」 ・記事の読み取りを踏まえ、根拠を明確にして意見をまとめる。	・漢字・語彙 ・文章の構成 ・引用と出典の理解 ・根拠の明示 ・意見文の作成		0		加減及び技能」 ・比強・何示・悲い強えなどの修辞や、直接的な述べ方や嫡曲的な述べ方について理解し 使っている。 「思考力、判断力、表現力」 ・「虚くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた 情報の妥当性で相性と特殊して、伝えたいことを明確にしている。 「主体的に学習に取り組む態度」 ・積極的に労習に取り組む態度」 ・積極的に労罰に取り組むを受ける。 ・積極的に新聞起事を抱んで問題の本質をとらえ、学習の見通しをもって根拠と自分の考え のつながりを明確にし、意見文を書く活動をしようとしている。	0	0	0	10
後	単元テスト			0			0	0		1
7. 期	<ul><li></li></ul>	・漢字・語彙、文章の読み方 ・キーワード把握、段落分け ・内容把握、主題把握 ・考えの形成 ・表現の特徴の理解 ・話し合い			0	「知識及び技能」・音楽には、設勝や思考を支える働きがあることを理解している。 「思考力、判断力、表現力」 ・音楽には、投版や思考を支える働きがあることを理解している。 「思考力、判断力、表現力」 ・「液状たと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基本的第二提え、要旨や恵点を把握している。 「主体的に学習に取り出版」 ・ 私り強く過去から現他の出来に至る内容と、作品中の筆者の思いを理解し、学習課題に 品って戦争体験を振り継ぐ意義を考え、話し合おうとしている。	0	0	0	10
	H 単元 多様な価値観を知り、社会の 未来を考える 『不思議の拍手』『真の自立とは』 ・「自立」の在り方について考察する 文章を読み、自分の考えを持ち、視野 を たげス	<ul> <li>漢字・語彙、文章の読み方</li> <li>・キーワード把握、段落分け</li> <li>・内容把握、主題把握</li> <li>・考えの形成</li> <li>・表現の特徴の理解</li> <li>・ 話1 合い</li> </ul>			0	「知識及び技能」 ・常用漢字の様々に慣れ、主な常用漢字を用い、読んだり書いたりすることができる。 「思考力、判断力、表現力」 ・「能わこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を話に新述によ、更写や電差を把握している。 「主体的に学習に取り細む趣度」 ・機能的に現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、今ま	0	0	0	10

**C /\(\text{A}\tau\) '\(\text{O}\)	· BD ∪ □ V ·		での学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをした上で、自分の考えをまと めようとしている。			
単元テスト		0		0	0	1